

クラス	TU103	担当教員	谷口 由希子
テーマ	児童養護施設で暮らす子どもの生活を考える		
著書・論文 研究課題等	<p>【著書・論文】</p> <p>○（単著）2011年『児童養護施設の子どもたちの生活過程—子どもたちはなぜ排除状態から脱け出せないのか』明石書店</p> <p>○（論文）2010年「児童養護施設で生活する子どもたちの退所の様相—生活過程の縦断調査の結果から」『貧困研究』Vol.5</p> <p>【研究課題】</p> <p>貧困の再生産を断ち切るための児童養護関連政策および援助実践の検討、児童養護施設</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：貧困の再生産、社会的排除、児童養護施設、フィールドワーク			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>【目的】</p> <p>「どうして施設で暮らしているのだろうか？」、「施設でどんな生活をしているのかな？」、「施設の職員はどんな援助をしているのだろうか？」、「子どもの貧困って何だろう？」、「どうして子ども虐待が起こるのだろうか？」…考えてみれば、私たちのまわりには「不思議」がいっぱいです。</p> <p>総合演習Ⅱでは、不思議に思ったことを「調べる」→「まとめる」→「発表する」という活動を繰り返して、ゼミのなかで学び合いながらこれから先、大学生活で学ぶテーマを深めていくことを目的としています。このゼミではとりわけ、児童養護施設で暮らす子どもを中心として貧困や社会的排除の渦中にある子どもの生活について考えていきたいと思えます。</p> <p>【内容と方法】</p> <p>発見した「不思議」について、次のような手順で学んでいきます。</p> <p>①図書や記録、統計データなどの資料から発掘調査をします。 →ここで現状と問題点を整理しましょう。</p> <p>②実際に施設や援助実践の現場に出かけ、フィールドワークやボランティアをします。 →実際に見聞きし五感を駆使して体験しましょう。身体は大切な調査道具の一つです。</p> <p>③調べた結果を分析しまとめます。 →さらにまとめた結果をゼミ内で発表しましょう。</p> <p>【授業計画】</p> <p>ゼミの主役は学生です。ともに話し合いながら計画していきましょう。調査やフィールドワークはサブゼミや休日を利用して行います。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>みなさんはどのような子ども時代を過ごしましたか？子どものころ、どんな夢を持っていましたか？楽しかったですか？大人になった今、考えてみましょう。みんな、かつては子どもだったのです。</p> <p>子ども期は人生の出発点です。子どもは自分で育つ力を持っていますが、子どもの発達を保障することは大人になった私たちの役割です。私たち大人は、子どもが子どもらしくキラキラと輝けるよう、子どもを支える営みをとおして、自分自身が成長することもできます。ゼミでは、子どもを育てることの本質を考えながら主体的に学習し、学びあいましょう。学んだことはこれから先の人生において、自分が自分を支えていく力になるはずで</p>			